

専攻科 経営情報専攻 シラバス

396020			
科目名	特別研究Ⅱ	年次配当	1年次
担当者	専任教員	開講時期	通年
所属	生活学科情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	演習		
単位数	4単位 必修		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要	
専攻科経営情報の専攻科目の中でより深く専門的に研究したい分野を選び、担当する教員の指導を受けて、研究を行い、その成果を発表する。	
到達目標	
本科より高度な研究を行い論文・作品にまとめ上げる。	
教材	
教科書(テキスト) 担当教員の指示	テキスト以外 担当教員が適宜に配布
評価方法	
発表30%、提出物70%	
学生に対するメッセージ(準備学習等)	
本科より一段上の研究を行ってください。皆さんの意欲に期待します。	

授業計画	
1 前期は担当教員の指導の下、専門分野の内容に	16 後期は、各自が選んだ研究テーマについて
2 ついての基礎力を養成し、研究方法を深めつつ	17 担当教員の指導により研究を進め、その成果を
3 ゼミ形式の演習の中から各自の研究テーマを選定	18 論文または作品としてまとめ上げる。
4 する。	19 この成果は発表会において発表し、論文また
5 前期の最終回に中間発表を行う。	20 は作品として仕上げ提出する。
6 授業は前期後期とも週2回で行う。	21
7	22
8	23
9	24
10	25
11	26
12	27
13	28
14	29
15	30

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396001			
科目名	経営学特論	年次配当	1年次
担当者	野津 和功	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 必修		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

現代の企業経営の活動がどのような形で行われているか、多角的に検討する。とりわけ企業価値を高めるために企業の経営活動はどのようなシステムと流れのなかで遂行されているのか。現代の企業経営の実際の活動を事例に取り上げながら研究する。

到達目標

企業価値を高めるための企業の経営活動について理解を深める。現代の企業経営の実際の活動について、雑誌や新聞の記事、ネット検索などを通して調べてみるができるようになる。

教材

教科書(テキスト)

指定しない。参考文献を紹介する。

テキスト以外

印刷物、ビデオ等

評価方法

レポート70%、提出物30%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

ビジネス誌や新聞の経済記事を読み、企業経営について関心をもつことを希望する。

授業計画

- 1 変貌する現代のビジネス
- 2 現代の社会制度と企業経営
- 3 企業の目的と業績評価
- 4 経営戦略の策定
- 5 経営組織の姿
- 6 IT革新とネットワーク組織
- 7 生産の戦略
- 8 マーケティング戦略
- 9 人的資源戦略
- 10 財務戦略
- 11 経営倫理
- 12 イノベーションとベンチャー
- 13 コーポレート・ガバナンス
- 14 変革の企業経営
- 15 まとめ、レポート課題について

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396002			
科目名	オペレーションズ・リサーチ	年次配当	1年次
担当者	三沢 英貴	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	2名

授業概要

産業や社会の様々な局面で意思決定をしなければならない。そのようなときに合理的に意思決定をする手法の集大成がオペレーションズリサーチ (OR: Operations Research) である。主に線形計画法、割り当て問題、PERT、スケジューリング、分枝限定法について学習する。

到達目標

ORに基本的な問題の状況 (利益最大やコスト最小、プロジェクトのスケジューリング等) とそれに対する意思決定手法の適用方法を理解している。

教材

教科書(テキスト)

テキスト以外

必要に応じて資料を配布。

評価方法

提出物100% (授業計画の範囲の中から複数の手法に関するレポートを課す)

学生に対するメッセージ (準備学習等)

基本的な数学的思考能力を必要とするため、受講前に1次関数、2次関数、行列、PERT、順列、組合せ等について復習しておくが良い。

授業計画

- 1 オペレーションズリサーチの歴史
- 2 線形計画法① 基本的な線形計画
- 3 線形計画法② シンプレックス法 I
- 4 線形計画法③ シンプレックス法 II
- 5 線形計画法④ 双対法と双対理論
- 6 割り当て問題① 最小化とハンガリー法
- 7 割り当て問題② 最大化とハンガリー法
- 8 PERT① 最早および最遅結合点時刻と作業時間
- 9 PERT② 作業余裕とクリティカルパス
- 10 CPM リスケジューリングにおける短縮速度と費用の関係
- 11 スケジューリング① フローショップスケジューリング
- 12 スケジューリング② ジョブショップスケジューリング
- 13 分枝限定法とフローショップスケジューリング問題
- 14 分枝限定法と段取替えを考慮したスケジューリング問題
- 15 まとめ

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396008			
科目名	経営情報特論	年次配当	1年次
担当者	藤本 晴久	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 必修		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要	
<p>情報化社会における情報と経営管理、その関係性について理解を深める。具体的には、ITを活用した経営組織論、経営戦略論、ネットワーク論などを総合して学習し、経営情報論の基礎知識を習得する。</p>	
到達目標	
<p>ITパスポート試験合格程度の力量を身につける。</p>	
教材	
教科書(テキスト) 未定	テキスト以外 適宜、配布する。
評価方法	
<p>レポート50%、小テスト10%、授業態度20%、提出物20%</p>	
学生に対するメッセージ (準備学習等)	
<p>修得した情報技術を経営の場でうまく活用できるように頑張りましょう！</p>	

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨN 授業の進め方 2 経営情報論の基礎 3 情報社会の到来と企業経営 4 経営資源としての情報 5 組織と情報システム 6 経営情報論の基礎理論 (経営組織論、経営戦略論) 7 経営情報システムの変遷 8 情報通信技術の進化 9 経営情報システムの管理 10 情報通信技術とビジネス・プロセス革新 11 ネットビジネス 12 情報通信技術と組織 13 これからの情報化社会 14 まとめ① 15 まとめ②

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396009			
科目名	コンピュータ科学基礎	年次配当	1年次
担当者	野津 伸治	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 必修		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	2名

授業概要

コンピュータの仕組みを基礎的な理論から説明し、コンピュータの成り立ちやその発達が現代社会に与えている影響などを考えていく。

到達目標

コンピュータの基礎的な理論を理解し、コンピュータが社会に及ぼす影響を考えることができる。

教材

教科書(テキスト) テキスト以外
坂村健『痛快！コンピュータ学』集英社文庫

評価方法

小テスト100%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

現実のコンピュータが、様々な基礎的な理論の組み合わせで出来ていることを学習していくので、両方の視点で理解するようにしよう。

授業計画

- 1 コンピュータ科学とは
- 2 情報理論（1）
- 3 情報理論（2）
- 4 コンピュータの歴史、小テスト# 1/3
- 5 ブール代数（1）
- 6 ブール代数（2）
- 7 プログラム（1）
- 8 プログラム（2）
- 9 CPU（1）
- 10 CPU（2）、小テスト# 2/3
- 11 OS（1）
- 12 OS（2）
- 13 インターネット
- 14 ICT社会の落とし穴
- 15 最新のコンピュータ科学の研究、小テスト# 3/3

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396012			
科目名	コンピュータシステム	年次配当	1年次
担当者	山崎 直子	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要	
コンピュータのハードウェアと基本ソフトウェア、システム構成技術について理解を深める。	
到達目標	
コンピュータの基本的な仕組みについて、詳しく理解できる	
教材	
教科書(テキスト)	テキスト以外 プリントなど
評価方法	
提出物80%、授業態度20%	
学生に対するメッセージ(準備学習等)	
当たり前のように使っているコンピュータの基本的な仕組みについて、もっと知っていきましょう。	

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1 CPUアーキテクチャの基本 2 命令実行制御と割込み 3 主要なコンピュータ・アーキテクチャ 4 メモリアーキテクチャ 5 入出力アーキテクチャ 6 コンピュータの種類とアーキテクチャ 7 基本ソフトウェアとOS 8 カーネルおよびタスク制御 9 主記憶管理 10 プログラム制御と入出力制御 11 ジョブ管理とセキュリティ制御 12 集中処理システム・分散処理システム 13 クライアントサーバーシステム 14 ネットワーク技術 15 高信頼性システム構成

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396013			
科目名	システム開発特論	年次配当	1年次
担当者	野津 伸治	開講時期	前期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

<p>授業概要</p> <p>システムの開発に関する基本的な手法の理解に加え、セキュリティー、リスク管理などについて、学習を深めていく。</p>
<p>到達目標</p> <p>システム開発の基礎的な理論を理解し、小規模なシステム開発で学習した手法を利用することができる。</p>
<p>教材</p> <p>教科書(テキスト) テキスト以外 授業で資料を配布</p>
<p>評価方法</p> <p>小テスト100%</p>
<p>学生に対するメッセージ (準備学習等)</p> <p>学内の稼働中のシステムのうち、ユーザとして利用可能なものの基本部分の開発のシミュレーションを試みよう。</p>

<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 システム開発の手順 2 システム分析と要求定義 3 システム機能設計 4 コード設計 5 データモデル設計、小テスト# 1/3 6 ソフトウェアコンポーネント設計 7 入出力設計 8 物理データ設計 9 部品化と再利用 10 プログラム分割技法、小テスト# 2/3 11 モジュール分割基準 12 セキュリティマネジメント 13 リスク管理 14 セキュリティ対策 15 まとめ、小テスト# 3/3
--

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396003			
科目名	地域経済特論	年次配当	1年次
担当者	野津 和功 他	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	5名

授業概要

山陰（特に鳥取県）における経済・産業構造の地域的特性、現況と課題などについて取り上げ、地方都市と農山漁村の抱える経済的な諸問題を検討する。なお本授業は、(財)とっとり地域連携・総合研究センターとの連携による特別講義が中心となっている。

到達目標

山陰地方、特に鳥取県の地域経済の実情について理解するとともに、地域経済の分析手法についても理解する。そして、若者の視点から地域経済活性化の課題や方向について考えることができるようになる。

教材

教科書(テキスト)
使用しない

テキスト以外

適宜、印刷物等の資料配付を行う。参考文献はそのつど紹介する。

評価方法

レポート80%、提出物20%

学生に対するメッセージ（準備学習等）

私たちが生活している地域の経済問題に目を向け、関心を持ち、元気で住み良い地域を作るための経済と産業のあり方を考えよう。各分野の専門家である特別講師の講義によって多角的にとらえるとともに、それぞれの分析手法についても学んでほしい。

授業計画（現時点のものであり、講師・内容等の変更はありうる）

1	授業の紹介、地域経済特論の課題	野津 和功
2	戦後日本の地域経済の動向（1）	野津 和功
3	戦後日本の地域経済の動向（2）	野津 和功
4	山陰における地域経済の諸問題	野津 和功
5	鳥取県の経済構造（1） 鳥取県の経済特性	千葉 雄二
6	鳥取県の経済構造（2） グローバル化と鳥取県	水上 啓吾
7	鳥取県の経済構造（3） 鳥取県の財政	吉弘 憲介
8	鳥取県の産業構造（1） 鳥取県の産業特性 製造業・建設業等	千葉・水上
9	鳥取県の産業構造（2） サービス産業 福祉・医療・介護	草刈 いづみ
10	鳥取県の産業構造（3） 鳥取県における企業誘致	新名 阿津子
11	鳥取県の産業構造（4） コンテンツ産業と地域活性化	倉持・吉弘
12	鳥取県の産業と生活（1） 鳥取県の商業と市街地活性化	倉持 裕彌
13	鳥取県の産業と生活（2） 鳥取県とジオパーク	新名 阿津子
14	鳥取県の産業と生活（3） 鳥取県の中山間地域	古川 義秀
15	まとめ レポート作成について	野津 和功

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396006			
科目名	ビジネス実務法規	年次配当	1年次
担当者	岩井 和由	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

企業をめぐる法律の中でもっとも大切な私法系科目とりわけ商法の基礎知識の充実をめざす。会社法・手形法の基礎を身につける。

到達目標

商法の適用のための基本的考え方を身につけること。

教材

教科書(テキスト)
会社法のテキスト

テキスト以外
判例コピー・レジメ

評価方法

小テスト50%、発表20%、提出物30%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

実業界には様々な事件が起こるが、これらに対処する法学的基礎を身につけることで企業の破滅さえ防ぐことができる。企業の法律遵守のためにも法知識が必要な時代である。

授業計画

- 1 企業法総論 企業と現代社会
- 2 企業法総論 企業法の意義と特色
- 3 企業の主体と組織
- 4 企業形態
- 5 株式会社の設立と株式
- 6 株式会社の機関
- 7 株式会社の資金・計算
- 8 企業の結合・再建
- 9 企業活動の現状と法
- 10 主な業種と法
- 11 企業取引の決済制度
- 12 手形と小切手1
- 13 手形と小切手2
- 14 決済制度の新しい流れ
- 15 まとめ

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396007			
科目名	情報倫理	年次配当	1年次
担当者	山崎 直子	開講時期	後 期
所 属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単 位 数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	可	受入可能人数	若干名

授業概要	
デジタル化・ネットワーク化に伴う道徳的諸問題についてとその対応策である法律について、実際の事例をもとに理解を深める。	
到達目標	
デジタル化が進み、インターネットの普及する今日、情報に関して起こる道徳的諸問題と法整備について理解を深め、情報に携わる人間として備えておくべき道徳的概念を身につけている。	
教材	
教科書(テキスト)	テキスト以外 プリントなど
評価方法	
レポート45%、提出物45%、授業態度10%	
学生に対するメッセージ(準備学習等)	
便利なデジタル・ネットワーク社会において、見落としがちな道徳的諸問題について一緒に考えていきましょう。	

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1 デジタル化とは 2 インターネットの普及 3 情報に関する法律の現状 4 情報化促進政策 5 情報化と知的財産権 6 サイバー犯罪とは 7 情報化における法的責任の例(1) 8 情報化における法的責任の例(2) 9 ネットワークにおける法的責任 10 ネットワークにかかわる係争事例(1) 11 ネットワークにかかわる係争事例(2) 12 プロバイダ責任制限法 13 個人情報保護とプライバシー 14 個人情報保護法と係争事例 15 まとめ

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396017			
科目名	知的財産法	年次配当	1年次
担当者	岩井 和由	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

知的財産は近時その重要性が増してきている。知的財産にはどのようなものがあるかを学び、さらに著作権を中心にその概念や利用方法、集中管理などを解説し、その登録の実際まで踏み込んで学ぶ。

到達目標

著作権制度を中心に、知的財産権の重要性を理解し、著作権登録の実務を行えるようになる。

教材

教科書(テキスト)
アクセス知的財産法

テキスト以外
判例等適宜配布

評価方法

レポート50%、提出物50%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

知的財産にも各種あり、その概念を学ぶとともに、その中でも著作権を中心に理解を深める。著作権についての専門知識を有するものはまだ少なく、社会に出たとき大いに役立つ。

授業計画

- 1 知的財産権とはどのような権利か
- 2 工業所有権の内容
- 3 工業所有権の権利取得
- 4 工業所有権の侵害
- 5 不正競争防止法
- 6 著作権とは何か
- 7 著作権の利用
- 8 マルチメディアと著作権
- 9 著作隣接権
- 10 著作権の集中管理
- 11 国際条約と著作権保護制度
- 12 著作権法改正と最近の動き
- 13 著作権登録の実務
- 14 著作権登録の実務 ソフトウェア
- 15 まとめ

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396010			
科目名	システム監査	年次配当	1年次
担当者	野津 伸治	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

<p>授業概要</p> <p>情報システムの効率、信頼性、安全性を確保するために、一定の基準に基づいて情報システムを総合的に点検・評価する方法について学習する。</p>
<p>到達目標</p> <p>情報システムの監査の基礎的な理論を理解して、学んだ技法で実際小規模なシステムの点検ができる。</p>
<p>教材</p> <p>教科書(テキスト) テキスト以外 授業で資料を配布</p>
<p>評価方法</p> <p>小テスト100%</p>
<p>学生に対するメッセージ (準備学習等)</p> <p>学内で稼働しているシステムのうち、ユーザとして利用可能なものを学んだ知識と技法で点検と評価してみよう。</p>

<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運用・評価の概要 2 システム運用形態 3 運用設計と運用管理の業務 4 情報システム部門と運用管理 5 運用管理技術、小テスト# 1/3 6 システム評価の概要 7 システム評価の手法 8 保守の概要 9 システムの保守の形態 10 監査の概要、小テスト# 2/3 11 稼働率の計算方法 12 稼働率の改善方法 13 処理能力の計算方法 14 安全性の評価方法 15 まとめ、小テスト# 3/3
--

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396011			
科目名	データベース技術	年次配当	1年次
担当者	三沢 英貴	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

データベース言語であるMySQLでのデータベース設計を通じて、データベースの理解、設計、作成を行う。また、Excelを用いた疑似データベース作成の技術についても学習する。

到達目標

MySQLを利用して、データベース設計（テーブル数5以上）及び種々の抽出操作ができる。
Excelによる疑似データベースの技術を習得し、各人のテーマに対するデータベースを作成することができる。

教材

教科書(テキスト)

テキスト以外
必要に応じて配布。

評価方法

提出物100%（課題Ⅰ…授業計画1～7の内容30%、課題Ⅱ…授業計画8～15の内容70%）

学生に対するメッセージ（準備学習等）

様々なデータベースに関する理解を深めよう。特にExcelによる疑似データベースの考え方は社会で非常に役立つテクニックです。きちんと習得して下さい。

授業計画

- 1 リレーショナルデータベースとSQL
- 2 MySQL演習①
- 3 MySQL演習②
- 4 MySQLによるデータベース設計①
- 5 MySQLによるデータベース設計②
- 6 MySQLによるデータベース設計③
- 7 MySQLによるデータベース設計④
- 8 Excelを用いた疑似DB実装（テーマ選定、DBの目的と仕様決定）
- 9 テーブル（テーブル/クエリ）のデザイン作成 ①
- 10 テーブル（テーブル/クエリ）のデザイン作成 ②
- 11 具体的データ入力
- 12 リストの役割とその設定
- 13 テンプレート（DBにおけるフォーム/レポート）のデザイン作成
- 14 DB関数を用いた関連付けおよび詳細部分設定の作成
- 15 実装システムのプレゼンテーション

専攻科 経営情報専攻科目 シラバス

396018			
科目名	環境経済学	年次配当	1年次
担当者	藤本 晴久	開講時期	後期
所属	生活学科 情報・経営専攻	資格選択区分	
授業形態	講義		
単位数	2単位 選択		
科目等履修生ほか受入	不可	受入可能人数	—

授業概要

環境問題は21世紀に人類が直面する最大の課題であるが、環境経済学はその問題を経済学的視点から明らかにする学問である。授業では、特に企業活動と環境問題に焦点をあてる。

到達目標

現代の環境問題とは何か、その原因は何か、その対処法などを理解することである。環境社会検定試験に合格できる水準の力を身につける。

教材

教科書(テキスト)
未定

テキスト以外
適宜、配布する

評価方法

レポート60%、小テスト20%、授業態度10%、提出物10%

学生に対するメッセージ(準備学習等)

地球環境問題の解決が一筋縄でいかないように、環境経済学も忍耐強く学ぶことが必要である。また特に企業活動と環境問題の関わりは注意深く考察する必要がある。地球環境問題の対処法をともに考えよう!

授業計画

- 1 インTRODクシヨN 授業の進め方
- 2 環境経済学とは何か
- 3 環境と経済の関係
- 4 環境経済学の基礎
- 5 環境政策と環境経済学
- 6 地球温暖化問題
- 7 ごみ問題とリサイクル
- 8 消費者と環境問題
- 9 企業と環境問題
- 10 企業の社会的責任(CSR)
- 11 環境の価値評価
- 12 環境対策の評価
- 13 持続可能な社会とは何か
- 14 まとめと小テスト
- 15 まとめと小テスト